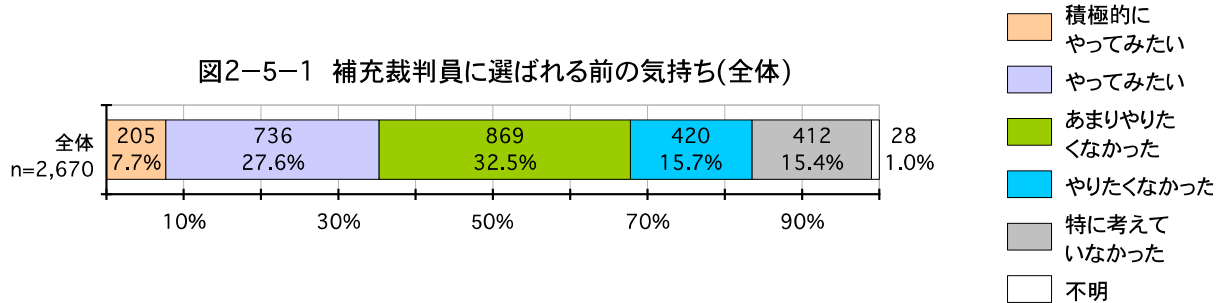


(5) 補充裁判員を務めた感想等について

() 補充裁判員に選ばれる前の気持ち及びその理由

問8 補充裁判員に選ばれる前、裁判員に選ばれることについてどう思っていましたか。



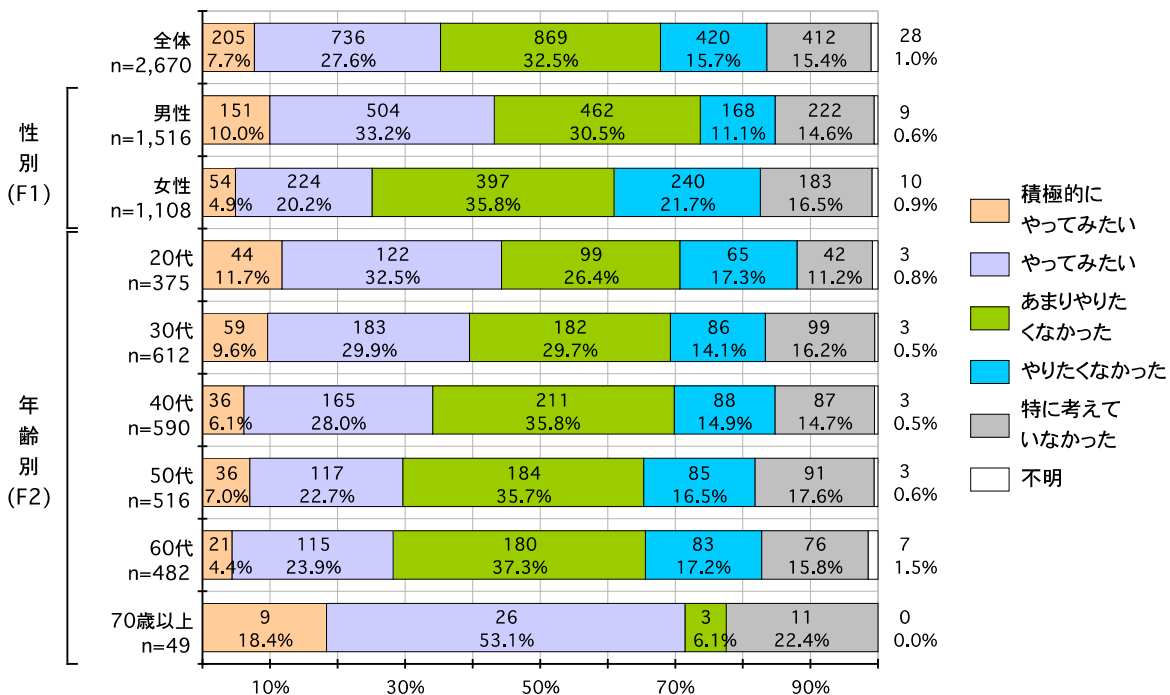
補充裁判員に選ばれる前の気持ちについて、「積極的にやってみたい」(7.7%)、「やってみたい」(27.6%)をあわせた『積極的な参加意向』は35.3%であるのに対し、「あまりやりたくなかった」(32.5%)、「やりたくなかった」(15.7%)をあわせた『消極的な参加意向』は48.2%である。

補充裁判員に選ばれる前の気持ちを性別、年齢別でみたのが、図2-5-2である。

性別でみると、男性のほうが『積極的な参加意向』(43.2%)が高く、女性のほうが『消極的な参加意向』(57.5%)が高い。

年齢別でみると、20代の『積極的な参加意向』が44.2%と高く、60代までは年齢が高くなるにしたがって低くなっている。なお、70歳以上の『積極的な参加意向』が突出しているが、70歳以上は、事前に定型的に辞退が認められる事由であることに留意されたい。

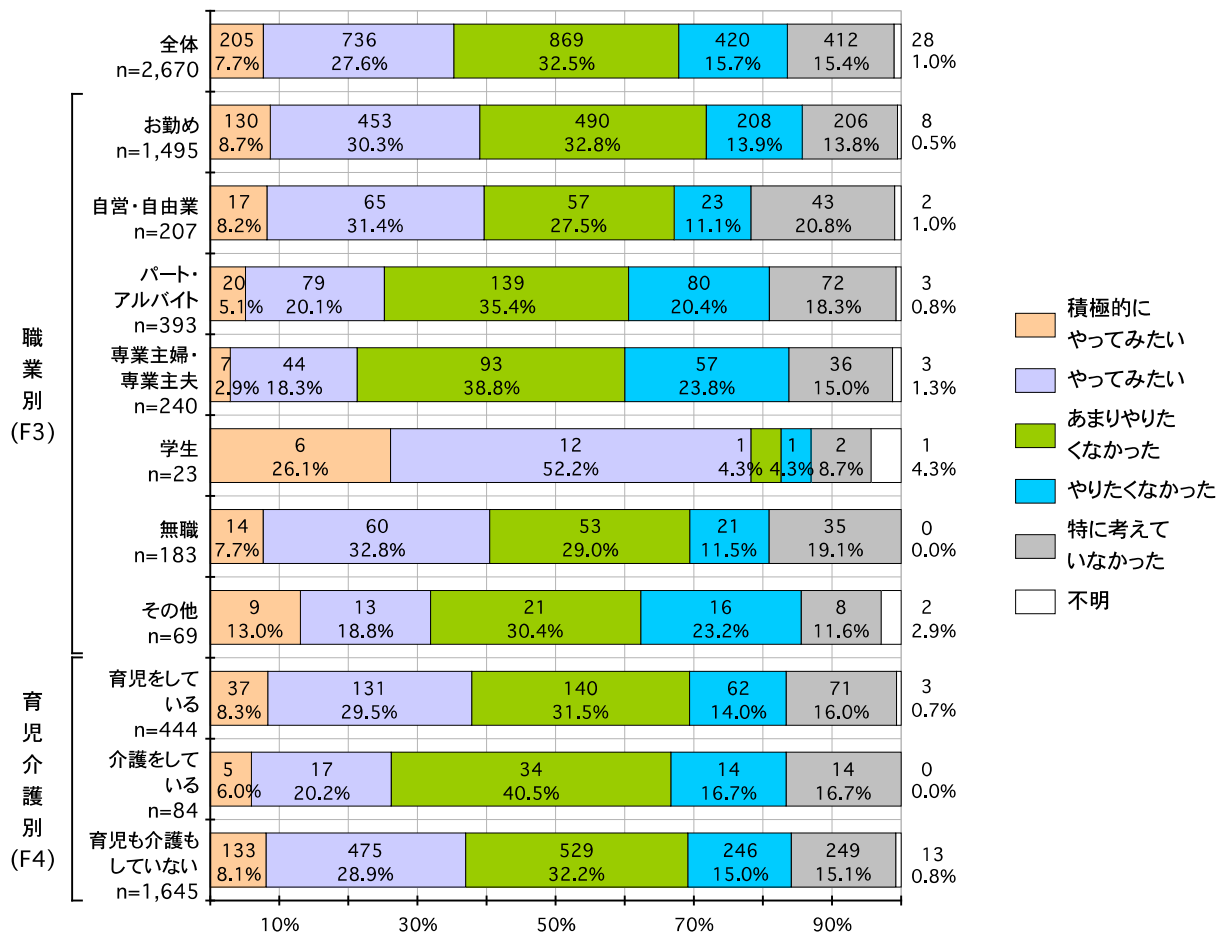
図2-5-2 補充裁判員に選ばれる前の気持ち(性別、年齢別)



補充裁判員に選ばれる前の気持ちを職業別，育児介護別でみたのが，図2・5・3である。
 職業別でみると，お勤めの層の39.0%が『積極的な参加意向』を示している。また，学生の層の78.3%が『積極的な参加意向』を示しているが，学生は，事前に定型的に辞退が認められる事由であることに留意されたい。

育児介護別では，介護をしている層の『積極的な参加意向』（26.2%）が他の層よりも低い。

図2-5-3 補充裁判員に選ばれる前の気持ち
 (職業別，育児介護別)



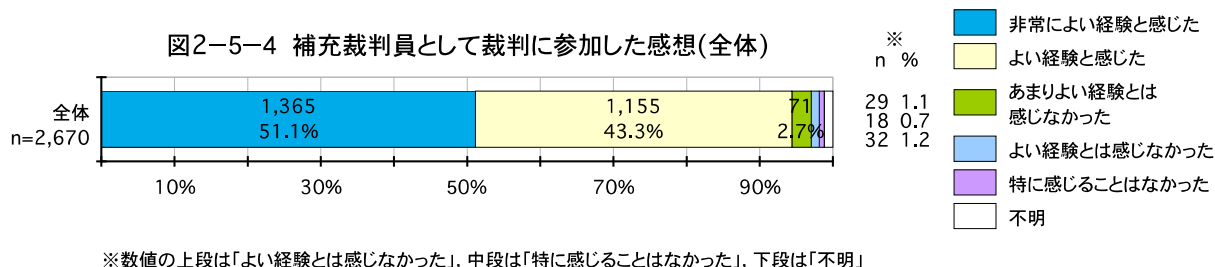
補充裁判員に選ばれる前の気持ち（問8）の理由を自由に記載してもらったところ（問9），全2,670名中，2,408名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け，複数の項目にわたる記載を含む回答については，当該複数の項目に分類したところ，裁判員に選任されることに対し，『積極的な参加意向』を示した理由としては「貴重な経験である，関心があった」とするものが最も多く，逆に，『消極的な参加意向』を示した理由としては「その他の不安，(漠然と)自信がない」を挙げるものが最も多い。

具体的な記載については，資料編の自由記載分類・整理表（178頁）に主な記載例を掲載したので，そちらを参照されたい。

() 補充裁判員として裁判に参加した感想及びその理由

問10 補充裁判員として裁判に参加したことは、あなたにとってどのような経験であったと感じましたか。

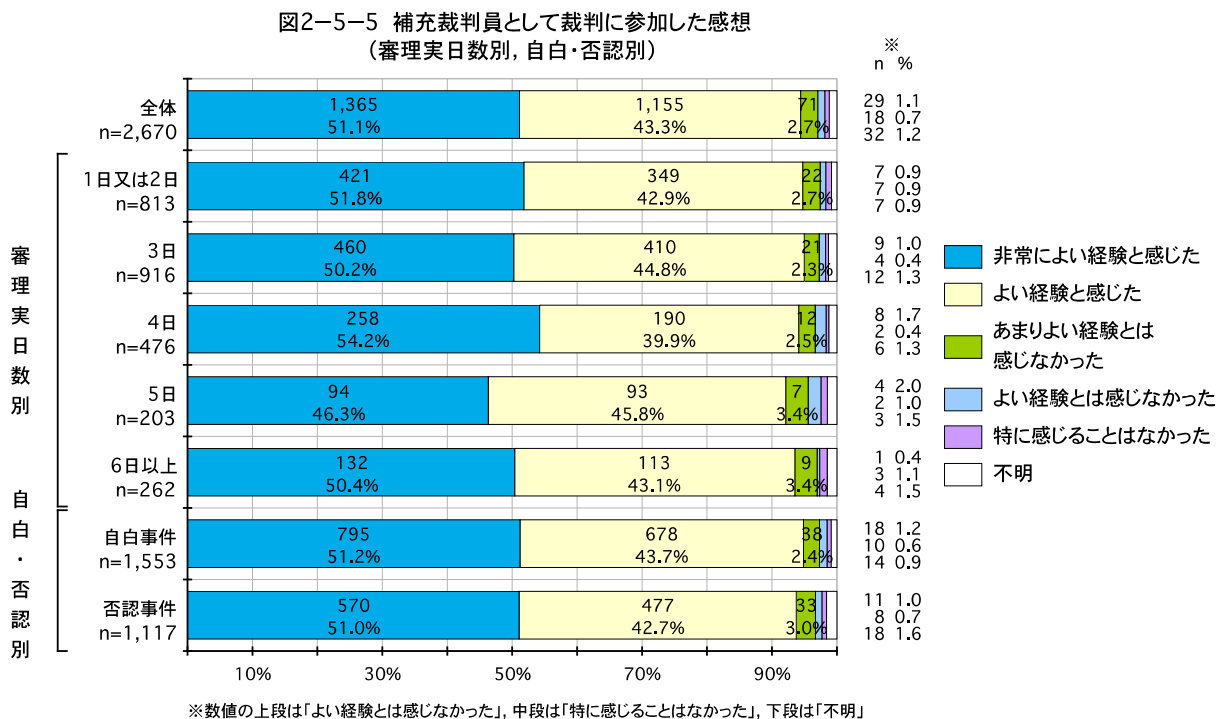


「非常によい経験と感じた」との回答が51.1%である。これに、「よい経験と感じた」との回答(43.3%)をあわせると94.4%となり、ほとんどの人が『よい経験』と感じたと回答している。

補充裁判員として裁判に参加した感想を審理実日数別、自白・否認別でみたのが、図2-5-5である。

審理実日数別でみると、「非常によい経験と感じた」割合は、4日が54.2%と最も高く、その他の審理実日数では、5日以外では50%以上となっている。

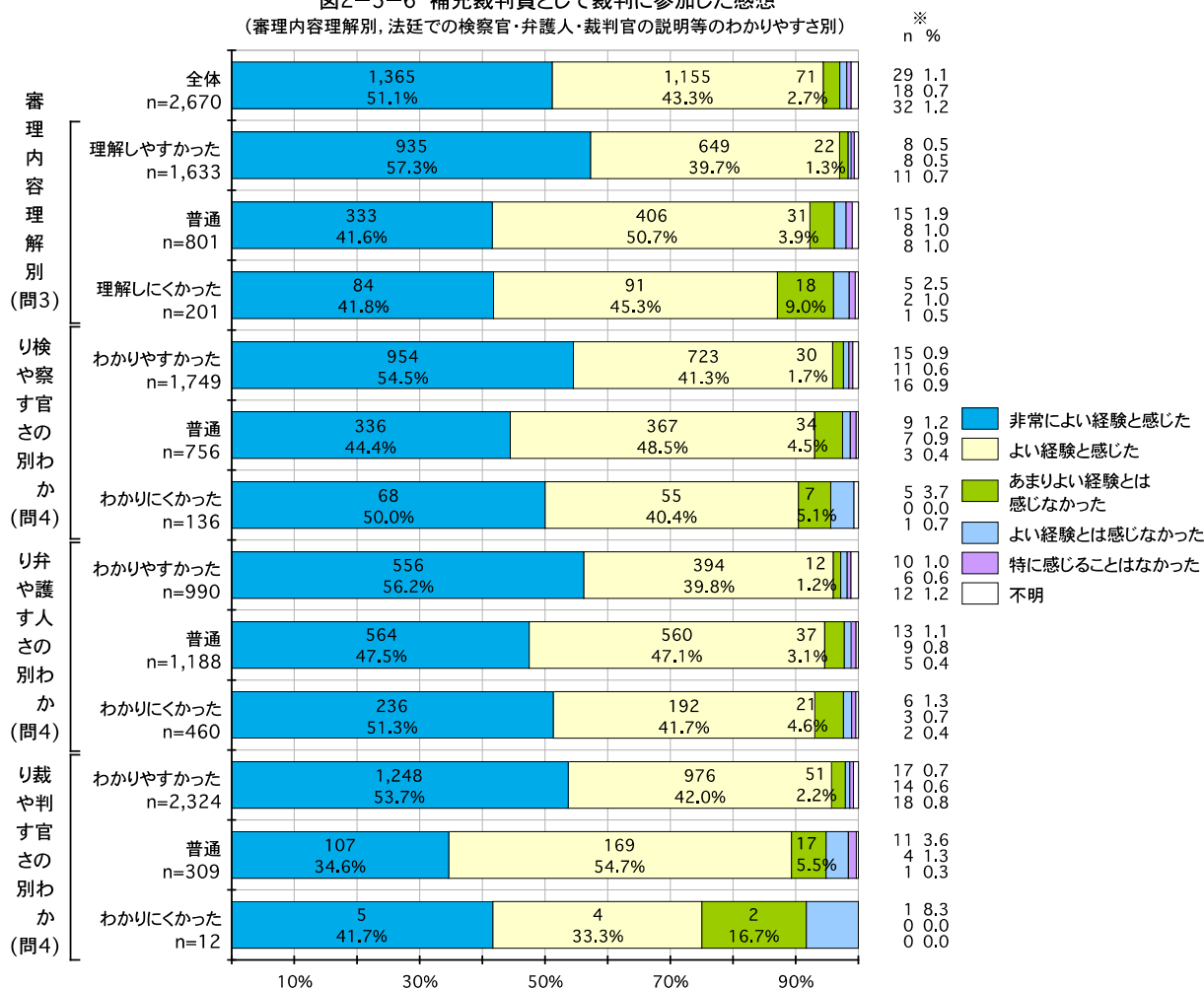
自白・否認別では、各回答の割合に大きな差はみられない。



補充裁判員として裁判に参加した感想を審理内容理解別，法廷での検察官・弁護人・裁判官の説明等のわかりやすさ別でみたのが，図2・5・6である。

審理内容について「理解しやすかった」と回答した層では「非常によい経験と感じた」との回答が57.3%となっており，「普通」または「理解しにくかった」と回答した層より15ポイント以上高くなっている。

図2-5-6 補充裁判員として裁判に参加した感想
(審理内容理解別，法廷での検察官・弁護人・裁判官の説明等のわかりやすさ別)



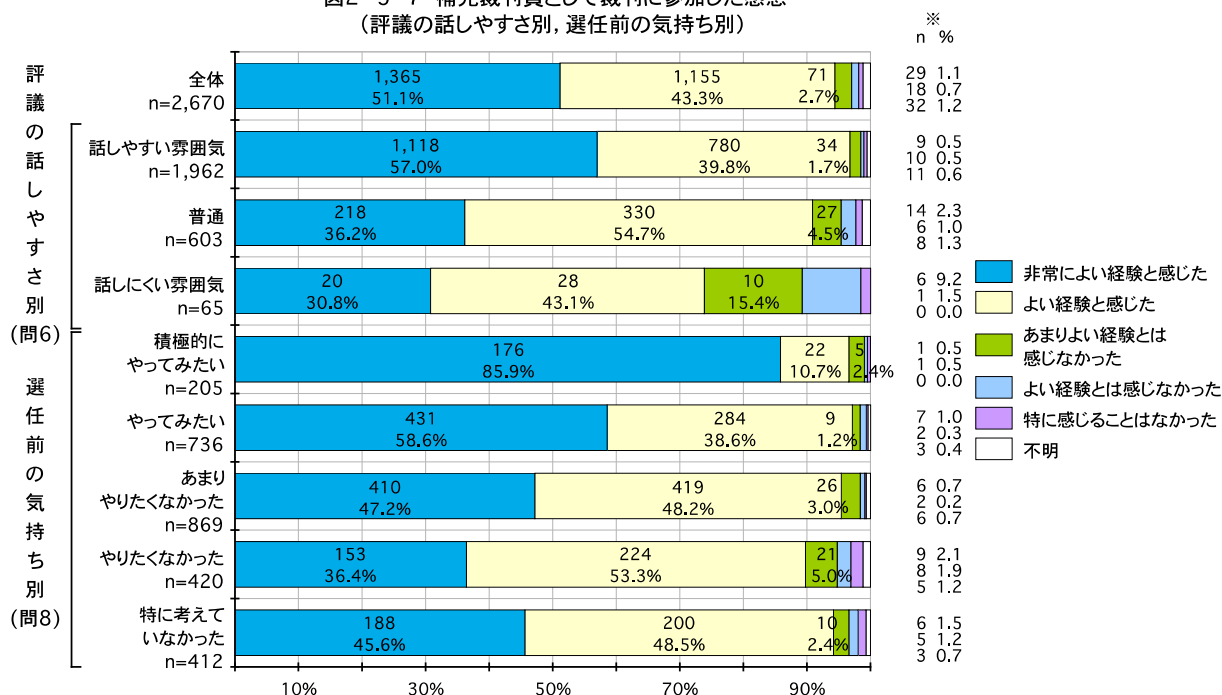
※数値の上段は「よい経験とは感じなかった」，中段は「特に感じることはなかった」，下段は「不明」

補充裁判員として裁判に参加した感想を評議の話しやすさ別，選任前の気持ち別でみたのが，図2・5・7である。

評議が「話しやすい雰囲気であった」と答えた層では『よい経験』と感じたと回答した者の割合は96.8%であり，他の層よりも高くなっている。

選任前の気持ち別では，選任前の参加意向が積極的な層ほど「非常によい経験と感じた」と回答した者の割合が高い。

図2-5-7 補充裁判員として裁判に参加した感想
(評議の話しやすさ別，選任前の気持ち別)



※数値の上段は「よい経験とは感じなかった」，中段は「特に感じることはなかった」，下段は「不明」

ア 補充裁判員として裁判に参加し、「よい経験」と感じた理由（問 1 1・1）

補充裁判員として裁判に参加した感想（問 1 0）について「非常によい経験と感じた」「よい経験と感じた」と回答した 2, 5 2 0 名にその理由を自由に記載してもらったところ、2, 3 9 0 名から回答があった。

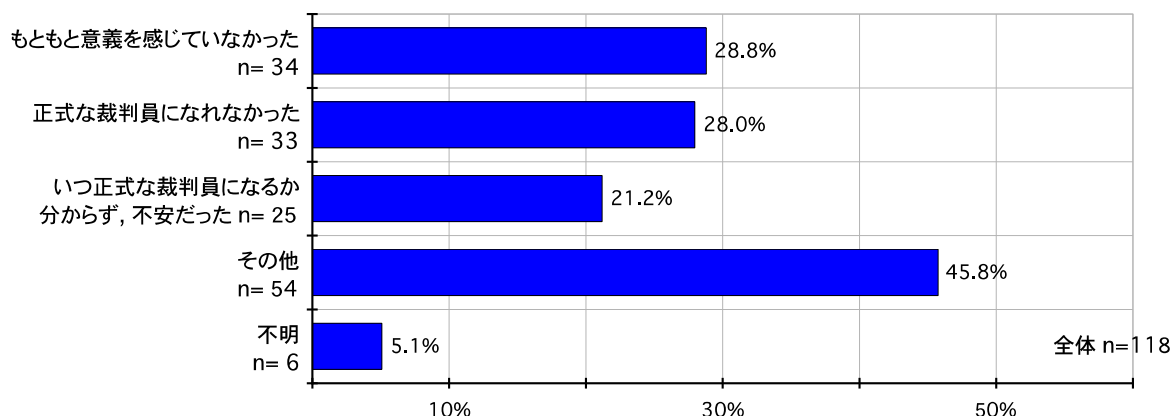
記述内容を項目別に大きく分け、複数の項目にわたる記載を含む回答については、当該複数の項目に分類したところ、「裁判や裁判所のことなどがわかった、身近になった」というものが最も多く、「貴重な経験をした、やりがいがあった」というものがこれに続いている。

具体的な記載については、資料編の自由記載分類・整理表（1 8 1 頁）に主な記載例を掲載したので、そちらを参照されたい。

イ 補充裁判員として裁判に参加し、「よい経験」と感じなかった理由

問 1 1・2 （問 1 0 で「あまりよい経験とは感じなかった」「よい経験とは感じなかった」「特に感じることはなかった」と答えた方に）その理由を次の中から、いくつでも選んでください。（M . A .）

図 2-5-8 よい経験と感じなかった理由(全体)



補充裁判員として裁判に参加した感想で、よい経験とは感じなかった 1 1 8 名にその理由を尋ねた。

「もともと裁判に参加することに意義を感じていなかったから」が 28.8%、「正式な裁判員になることができなかったから」が 28.0%、「いつ正式な裁判員に選ばれるかわからず、不安だったから」が 21.2%であった。

補充裁判員に選任された後の感想（問 1 0）について「あまりよい経験とは感じなかった」「よい経験とは感じなかった」「特に感じることはなかった」とした理由について（問 1 1・2）で「その他」を選択した 5 4 名に、その理由を具体的に記載してもらった。

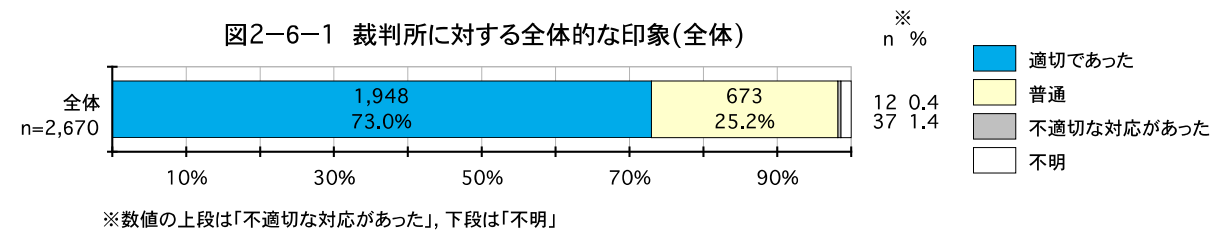
記述内容を項目別に大きく分け、複数の項目にわたる記載を含む回答については、当該複数の項目に分類したところ、「補充裁判員だから、自由に発言できない」、「重い経験だった」などとするもの以外のその他の感想が最も多かった。

具体的な記載については、資料編の自由記載分類・整理表（1 8 3 頁）に主な記載例を掲載したので、そちらを参照されたい。

(6) 裁判所の対応(裁判所職員の対応, 裁判所からの情報提供, 裁判所の設備など)について

() 全体的な印象

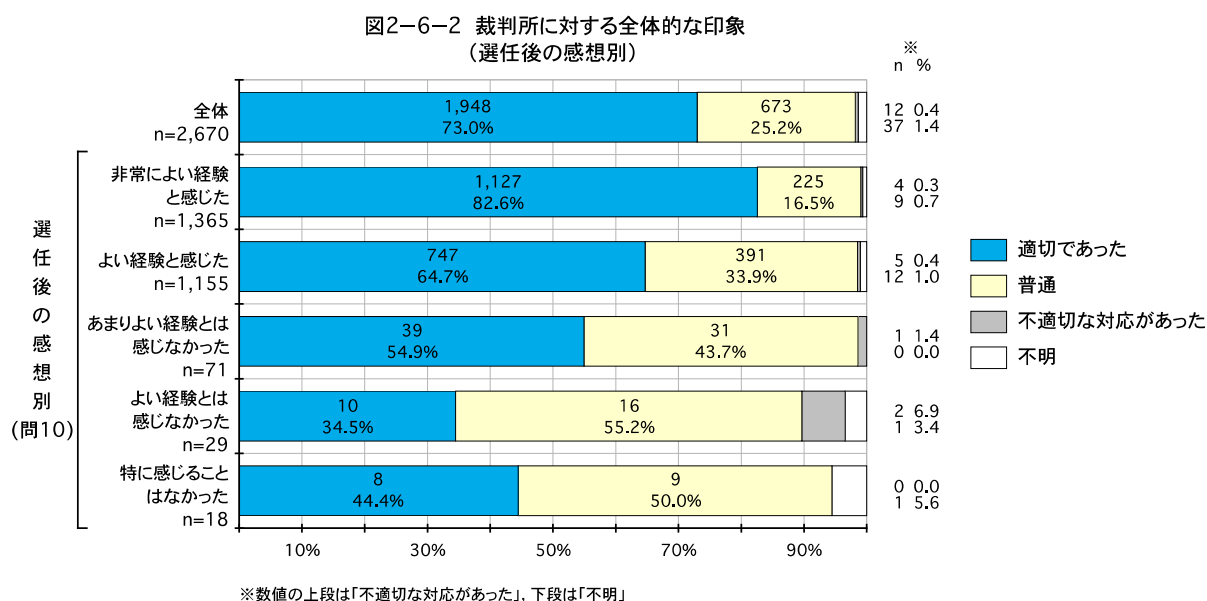
問12-1 全体的な印象はいかがでしたか。



裁判所の対応については、「適切であった」との回答が73.0%（「普通」とあわせて98.2%）であったのに対し、「不適切な対応があった」との回答は0.4%であった。

裁判所に対する全体的な印象を選任後の感想別でみたのが、図2-6-2である。

「非常によい経験と感じた」と回答した層では82.6%が「適切であった」と回答している。



() 裁判所の対応について感じたこと(問12-2)

裁判員候補者名簿に登録されてからの裁判所の対応(裁判所職員の対応, 裁判所からの情報提供, 裁判所の設備など)について感じたことを自由に記載してもらったところ, 全2,670名中, 1,083名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け, 複数の項目にわたる記載を含む回答については, 当該複数の項目に分類したところ, 職員の対応について, 「適切だった, 気を遣ってもらった」などとするものが最も多かった。

具体的な記載については, 資料編の自由記載分類・整理表(184頁)に主な記載例を掲載したので, そちらを参照されたい。

(7) その他の全般的な意見や感想など (問 1 3)

全般的な感想について、自由に記載してもらったところ、全 2, 6 7 0 名中、1, 2 2 2 名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け、複数の項目にわたる記載を含む回答については、当該複数の項目に分類したところ、参加した感想のうち「貴重な経験だった」、「負担が重かった」などとするもの以外のその他の感想が最も多く、制度の運用に関する意見がこれに続いている。

具体的な記載については、資料編の自由記載分類・整理表 (1 8 6 頁) に主な記載例を掲載したので、そちらを参照されたい。